

ヘスペリジン、ナリンギンの分析 Hesperidin, Naringin

ヘスペリジン（ビタミンP）、ナリンギンはかんきつ類などの薄皮に多く含まれているポリフェノールです。ビタミンCの吸収を助ける役割や血圧の上昇を防ぐ役割などがあり、サプリメントなどでも広く販売されています。

今回はヘスペリジン、ナリンギン、それらのアグリコンであるヘスペレチン、ヘリンゲニン4種を一斉分析しました。これらのポリフェノールには金属配位性があるため、カラムによっては吸着しますが、L-column2 ODSでは最適な分離、ピーク形状をもたらします。

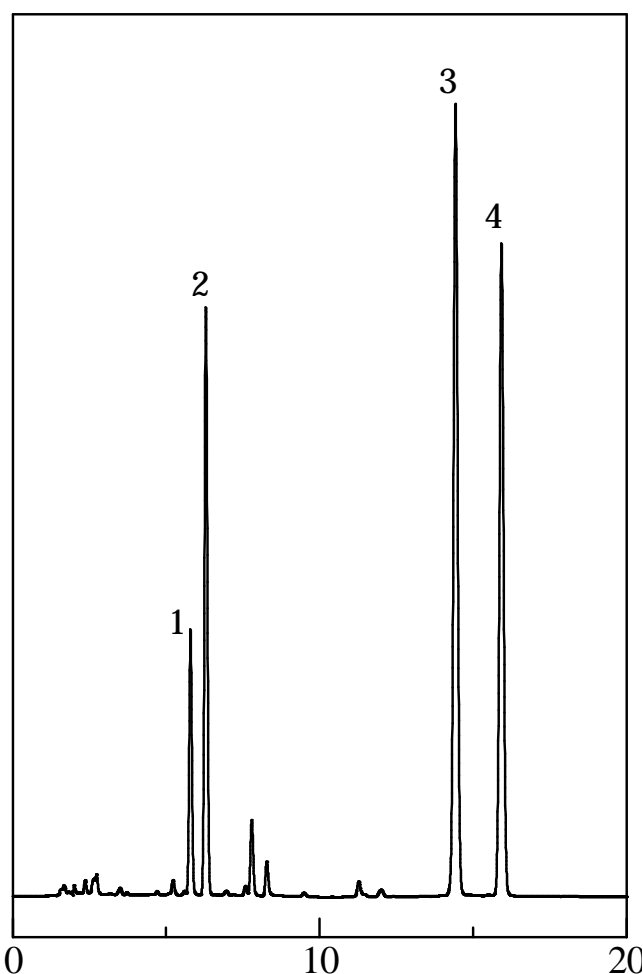
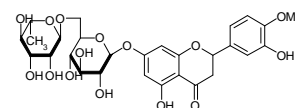
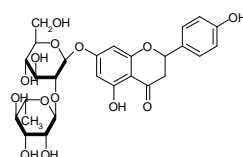
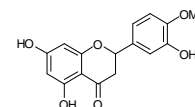
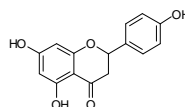


Fig. Chromatogram of Polyphenols



1. Naringin (100 mg/L) 2. Hesperidin (200 mg/L)



3. Naringenin (100 mg/L) 4. Hesperetin (100 mg/L)

【Analytical conditions】

Column	: L-column2 ODS (5 μm, 12 nm) 4.6 × 150 mm
Mobile phase	: (A) CH ₃ CN, (B) 20 mM H ₃ PO ₄ A/B, 20/80 40/60 (0 20min)
Flow rate	: 1 mL/min
Temperature	: 40
Detection	: 285 nm
Injection	: 5 μL in CH ₃ CN/H ₂ O(40/60) volume